

聴く

新潟いのちの電話だより

2014.9

No.122



相談電話

(025) 288-4343

上 越 (025) 522-4343

長 岡 (0258) 39-4343

新発田 (0254) 20-4343

村 上 (0254) 53-4343

「虹の会」について(2)

玉橋 計治

新潟いのちの電話設立30周年記念式典に出席させていただきました。

来賓祝辞の中で、泉田知事は「新潟県の自殺率が高いのは、律儀な県民性と雪国育ちの我慢強さが、一因にあるのではないか」と話されました。篠田市長は「相談機関に、SOSを発信してよい」と話されました。金子衆議院議員は、自殺で父親を亡くした女子学生の話として「彼女は『死にたい』と言った友達に、『残された家族は大変な苦勞をするんだよ。だから、簡単に死にたいなんて言わないで』と訴えたそうです」と、体験を話されました。

祝辞を聞きながら、行政が自殺予防について真剣に考えていることが、強く伝わって来ました。そして、自死により残された方々の苦しみを思わずにはいられませんでした。

「虹の会」では、自死で家族を亡くしたことが精神的に大きな衝撃であること、「心の痛み、苦しみ」の後にようやく「悲しみ」という気持ちになること、自死を防げなかった自分を責め続けていることなどが、話されています。

何度も参加されて思いを語られる方、何年かたってからようやく話すことができたと言られる方、誰にも話せなかった思いを初めて話される方、自身は何も話されないけれど、話を聞きながら涙を流していらっしゃる方など、様々です。

大切な方を亡くされた方々が、語り合い、また話を聴くことにより、それらの悲しみを分かち合い、支え合って、希望を少しずつ取り戻されています。

「虹の会」で話されるような悲しみを経験される方が、一人でも少なくなるように、行政の自殺予防対策に期待しております。

(自死遺族語り合いの会「虹の会」世話人)

ある日の相談室より

電話の前に座ったと同時にコールが鳴る。何も言わず、しばらくして、「話してもいいですか」と50代位の女性からの電話だった。小さい声で「誰もいなくてひとりです。病気をして子どもはいません。夫は死にました。私を置いて、がんでした。でも長い間介護したので、夫に対しては思い残す事はありません。ひとりになった今、子どもがいたらなあと思うことが多く、孤独で頭がおかしくなるようです。両親も死んで、私はひとりっこのので、誰も頼れる人がいません。この先を考えると不安で日々恐怖と戦っています」

30分位話して、「つながって良かったです」と終わった。

受話器を置くと同時にコールが鳴る。20代男性からだった。「今アルバイトしかしていない。障害があるから1週間に3日位しか働けない。もっと働きたいのに今の仕事を減らすと言われた。今でも少ないのに、これ以上減らされたら生活ができない。ひとり暮らしができない。親に迷惑をかけられない。母親も障害があり入院している」困難な生活の様子を話された後、「上司にもっと働かせてもらいたいと言ってみます」と終わった。

「大阪からです」と60代男性から。「これまで一度も結婚した事がない。このまま人生終わるのかなあ。このまま死ぬのかなあ。今は、生活保護を受けている。これまで何度も盗みをして刑務所暮らしを繰り返していた。その度にひどい所に住むようになった。歳をとってだんだんひどい生活になる。もう死にたい、死んだほうがいい。また盗みをして、刑務所に入ったほうがいいと思う時もある」

30分位話して、「盗みはもうしないけどね」と終わった。

誰にも話せない、話す人がいない。でも誰かと話したい。

本音は言えない、親にも兄弟にも言えない。

この苦しい気持ちを聴いてほしい、ただ聴いてほしいという思いが、受話器から伝わってくる。



(内容は、電話を基に構成し直したものです)

いのちの電話に思うこと

西脇美智子

私が「新潟いのちの電話」という組織を初めて知ったのは、平成7年、越路文化講演会で、萩屋薫先生にご講演いただいた時だと記憶している。

その講演で今も覚えているのが「花や草の名前を覚えて植物と会話が出来ると人は、曲がること不可以」というようなお話だった。命の営み、はかない花の美しさを心から愛おしく感じる心に、悪魔は住み着かないということなのだろう。

さて、30年間365日24時間という歳月を積み重ねてなお「この組織の目的は、この組織が無用になる世の中を作ること」と言い切る考え。「褒められることがあったら、組織の目的であって、相談員ではない」という感動的なお話に、萩屋先生のその言葉を思い出す。

相談員の認定式に、偶然20年来の知人に会った。いつになくよそよそしい彼女は「私が相談員をしていることは3人しか知らないの。黙っていてね」と言った。

相談員の皆様の、高い意識と裏腹な、屈託のない明るさがこの組織の心棒であり要なのだろう。これだけ物が豊かな時代に何故心を病むのか、生きにくい世であることは間違いない。

心が曲がる恐れもない歳になった今、それでも初めての花や草木の名は尋ねるようにしている。美しい花に癒され、木々の緑にがんばれと背中を押され、助けられている。



(朝日酒造株式会社 文化事業部部長・新潟いのちの電話 評議員)

毎月10日(午前8時より翌日午前8時まで)は
フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」が実施されています。
電話番号 0120-738-556

お知らせ

会費納入ありがとうございました

会費が届くたびに、活動を支えてくださっているたくさんの会員、団体、企業の皆様の温かいお気持ちを感じています。

会費はいのちの電話の活動のために大切にに使わせて頂きます。

新潟いのちの電話

～心の健康セミナー～

今年度予定している4会場のうち、上越市、新発田市は終了しました。今年も参加された方々から好評を頂いています。

内容

・津軽三味線

母・竹育、息子・史佳が語る

史佳を「うつ」から立ち直らせた、

母の支えと津軽三味線の響き

史佳Fumiyoshi・高橋竹育

・こころと薬の話

新潟いのちの電話理事長

及川紀久雄

〈十日町市〉

日時 11月10日(月) 13:30から

会場 千手中央コミュニティセンター

「千年の森」

〈長岡市〉

日時 2015年2月26日(木) 13:30から

会場 山古志復興交流館「おらたる」

2会場とも入場無料です。当日直接会場へおいでください。ご参加をお待ちしております。

第28回 チャリティーバザー

(いのちの電話後援会主催)

日時 9月28日(日) 11:00から

会場 新潟市総合福祉会館

当日販売用の物品のご寄付が届いているところです。日用品、雑貨、手作り品などのご寄付は、引き続き新潟市内の方は、ご連絡いただければ、受け取りにうかがいます。

後援会の方々が中心になり、皆様に喜んで頂けるようなバザーになるように、準備をすすめています。

公開講座

(自殺予防いのちの電話 会員の集い)

演題 あなたの命はかけがえのないもの
—すべての人生は意味がある—

講師 市岡 裕子氏

(ゴスペルシンガー)

日時 11月27日(木) 18:30から20:00

場所 新潟日報メディアシップ2F

日報ホール

(新潟市中央区万代3-1-1)

駐車場はございません。

※厚生労働省の自殺防止対策事業です。

※入場無料です。どなたでも参加できます。当日直接会場へおいでください。たくさんのご来場をお待ちしています。

2014年9月10日発行

社会福祉法人 新潟いのちの電話

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3 新潟ユニソンプラザ ハート館
事務局 TEL (025) 280-5677 FAX (025) 280-5677
ホームページアドレス <http://www.ni-denwa.jp/>

センサー

わたしたちの だれにでも
隠れたセンサーが備わっている
そして ひとと出会うときには
いつも これが働いている

相手について なにかわかる前から
センサーは 信号を出しつづけている
いいひとなのか わるいひとなのか
一緒にやっていけるのか 無理なのか

だが 幸いなことに
わたしたちは このセンサーを
じぶんなりに セットしておくことができる

それは あらかじめ
自分にこう問いかけておくことだ
わたしは ひとを受け入れるほうのたちなのか
それとも そうでないのか また
ひとにたいして あたたかいのか つめたいのか

昔から このセンサーは
こころ と 呼ばれてきた

まずこの問いを 自分にしておくだけで
わたしたちは もっと容易に
こころゆるして ひとをうけいれ
ときには 好きになることさえできる

フィル・ボスマンス